

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒

## 奥武蔵 蕨山ーのどかなプロムナード散歩ー

登山愛好の隊友諸氏との話題共有の一助にと思い、拙文「おりおりの山」を投稿し始めて10余年が過ぎました。長くなりました。今回、第150回の節目を以て本稿を終了させていただきます。長い間のご愛読有難うございました。  
(習志野支部長 柚木文夫)



名郷から仰ぐ蕨山(夏)

4月上旬、下山後の温泉を目当てに、奥武蔵・蕨山(ワレヤマ) (1033m)に出かけた。春の日差しの中、存分の尾根歩きをと、今回は鳥首峠～蕨山～金毘羅山のロングコース縦走を計画した。

飯能からのバスを終点・名郷で降りたのが8時半。小生一人、道端でのんびり身繕いして出発が8時45分。白岩川に沿う舗装路をポツラポツラ歩く。50分程歩いた石灰石工場前で舗装路は終り、登山路となる。途中、小生と同じコースを辿る予定とのオバサン3人組と一緒に、小生、地図を拡げてしっかり今日の行程の講釈をした。今時のオバサン登山は地図も持っていないんだ。でも以後一日、彼女らとは先になったり後になったりで、最後には豪勢な菓子袋をプレゼントされた。

10時半、鳥首峠に到着し、以後のどかな尾根歩きとなる。小さな登り降りの繰り返して11時20分滝入ノ頭、11時半ショウジクボノ頭、12時橋小屋ノ頭(1163m)。この頂上は見晴し良く、数組が弁当を拡げている。ここに「有間山」なる標識が堂々と立っているのが面白い。実際の地図上の有間山(1213m)は、ここから更に1km程も南にあるはずだ

が、この辺でお茶を濁したい登山客へのサービスのつもりか。

橋小屋ノ頭から本日一番の急下降をした所が逆川乗越。立派な休憩舎の建つきれいな園地。一体誰が使うのか、国交省の予算の無駄遣い(?)。逆川乗越からは広い尾根道のゆったりした登りになり12時45分、蕨山に到着した。

山頂広場を取り巻きベンチがあり5～6組の先客が弁当を拡げている。立派な標定板があり、武甲、武川、伊豆ヶ岳などの奥武蔵の山々、振り返れば川苔、大岳、棒ノ折などの奥多摩の山々が手に取るように見えた。

山頂で眺望を楽しんだ後は、東に向かい下山にかかる。山頂直下のちょっとした急坂の後は、雑木林に包まれたのびやかな尾根道。殆ど高低差のない気持ちのいいプロムナードである。大きく両手を振って行進する。



坦々とした尾根道

13時20分藤棚山、14時10分大ドケノ頭、14時半小ドケノ頭、14時50分金毘羅山、15時金毘羅神社跡。最後は樹林の中の長い木段下りとなり15時40分、お待ちかねの村営温泉「さわらびの湯」にご入湯となった。山を下りての風呂とビール、これぞ極楽。



蕨山山頂から眺める奥武蔵の山々

